

図書館インフォメーション

令和5年度
『のんたんのへや』
リトミック教室&乳幼児お話し会
が始まりました♪



「手あそび」、「うた」、「工作」などを行うお話し会や、音楽に合わせて動くリトミック教室など、ご入園前のお子様と一緒に図書館へ遊びに来てください。

館内展示コーナー紹介



朝ドラ『らんまん』で注目を集めている植物学者 牧野富太郎氏 の特集です。植物関連の書籍を紹介しています。近くに咲いているお花や雑草の名前を調べてみませんか？

美術館（展示の紹介）

【岩合光昭 写真展】

～ねこのとけい～

令和5年7月15日(土)～8月27日(日)

本企画展開催にあたり、1階視聴覚室にて

【写真で集う みんなのネコ】

として、皆様のご自慢の猫の写真を募集いたします。パネルをご用意いたしますので、猫を紹介するメモと一緒に、ハガキサイズの写真をお持ち寄りください。

写真の募集は7月1日(土)から8月20日(日)までです。

展示スペースに限りがありますので、入替える場合があります。ご了承ください。

7月の図書館の予定

・乳幼児リトミック教室
7月5日(水) 10:30～11:30

・乳幼児お話し会 のんたんのへや
7月12日(水) 10:45～11:30



※各種催し物は、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

町立図書館では、年代別のおすすめ本の紹介などの情報を図書館だよりで配信しています。図書館だよりのバックナンバーは右のQRコードを読み取るとご覧いただけます。



今月の新刊情報

街とその不確かな壁

村上 春樹 著
新潮社



その街に行かなくてはならない。何があろうと。〈古い夢〉が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された物語が深く静かに動き出す。

オール・ノット

柚木 麻子 著
講談社



苦学生の真央が出会ったのは、かつて栄華を誇った山戸家の生き残り・四葉。彼女が託した宝石箱が、真央の人生を変えていく。

夜空に浮かぶ

欠けた月たち

窪 美澄 著
KADOKAWA



精神科医の夫とカウンセラーの妻が営むメンタルクリニック。様々な悩みを持つ患者にそっと寄り添い、支えていく夫婦にも悲しい過去があった。

時計泥棒と悪人たち

夕木 春央 著
講談社



激動の大正時代を泥棒たちが大暴れ! 『絞首商會』『サーカスから来た執達吏』にも繋がる大正ロマン連作短編ミステリー。

光と陰の紫式部

三田 誠広 著
作品社



幼くして安倍晴明の弟子となり卓抜な能力を身に着けた香子＝紫式部。権勢を極める藤原道長と繰り広げられる宿縁の確執を描く。

闘いの庭 咲く女

彼女がそこにいる理由
ジェーン・スー 著
文藝春秋



「私なんて」はもう捨てよう。逆風をしたたかにかわしつつ花を咲かせた13人の女性たちに、「自分らしさ」の見つけ方、生き方、仕事術を訊く。

夫婦のトリセツ決定版

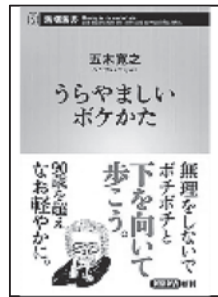
黒川 伊保子 著
講談社



夫婦それぞれお互いに、吐き出すことばを少し変えて、受け止める方の解釈も少し変えて、夫婦で歩み寄るための一冊。

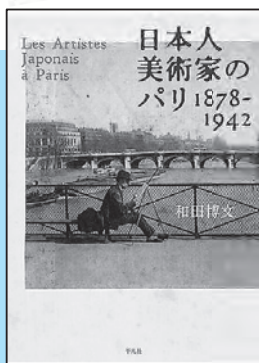
うらやましいボケかた

五木 寛之 著
新潮社



人の生き方・考え方が目まぐるしく変わる時代、90代に突入した五木寛之が、ユーモアをまじえながら卒寿の本音を綴る。

おすすめ



日本人美術家のパリ

1878-1942

和田 博文 著 平凡社



高村光太郎、藤田嗣治、岡本太郎など、19世紀後半から20世紀前半にかけて多くの日本人の美術家たちが競ってパリを目指しました。世界のあらゆる美術家にとってパリは必ず一度は訪れなければならない芸術の首都であり、南部町出身の水墨画家、近藤浩一路もその一人としてパリを訪れています。特定の美術家のパリ体験については、これまでに多くの研究や展覧会がなされてきましたが、本書はそれらと違い、「日本人美術家の総体」がどのようなものであったかについて、膨大な資料を読み解いて一冊にまとめています。